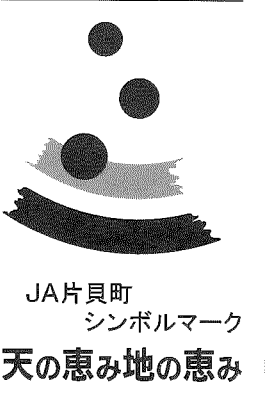


発行所 片貝新聞社 〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4 TEL 0258-84-3246 FAX 0258-84-2632 編集発行人 吉原芳郎 印刷所 吉原印刷所 題字 黒崎敬渥氏



JA片貝町 シンボルマーク 天の恵み地の恵み

# アンケート結果まとまる 学童保育さらに前進

## 4月29日の小学校PTAで周知

第2回学童保育を考える会が3月13日(火)午後7時30分から片貝支所2階ホールに開催された。片貝小学校65名、片貝保育園85名の回答がありその主な結果は、Q「学童保育の内容を知っていますか?」A「知っています」31%、何となく知っている31%、知らない12%、53%。Q「家族の人数?」A「3人」4%、「4人」6%、「5人以上」37%。Q「お子さんの下校後面倒を見てくれる人がいますか?」A「いる」87%、「いない」7%。その他5%、無回答1%。Q「近くに学童を実施している所があれば利用しますか?」A「する」29%、「しない」53%。その他17%。無回答1%。アンケートの結果、後日協力者全員に配布する予定と担当、指導員募集の条件は▽専任は1名、(普通免許)、勤務時間は平日(月)午後2時から午後6時30分、夏休み等は午前8時30分から午後6時30分迄となり八百五十円の時間給。▽パートは3名で年齢不問、勤務時間は専任指導員と同じで七百五十円の時間給。代表の高橋さん「子供の好きな方で、指導員に付いては別記の条件で再募集するなど話合われた。なお、アンケートは片貝小学校65名、片貝保育園85名の回答がありその主な結果は、Q「学童保育の内容を知っていますか?」A「知っています」31%、何となく知っている31%、知らない12%、53%。Q「家族の人数?」A「3人」4%、「4人」6%、「5人以上」37%。Q「お子さんの下校後面倒を見てくれる人がいますか?」A「いる」87%、「いない」7%。その他5%、無回答1%。Q「近くに学童を実施している所があれば利用しますか?」A「する」29%、「しない」53%。その他17%。無回答1%。

### 消防施設集中化

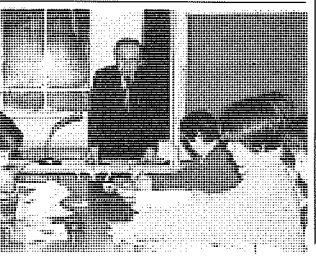
このほど懸案であった消防車の一括集中の場所として屋敷地内旧魚沼線跡地に「消防団拠点施設建設工事」が十三年度中に完成となった。これは今から四年前平成八年の定例市議会が安達市議が当時発生した四軒の3軒全焼火災に因り、片貝地区の消防体制の不備を質問したことにあつた。質問要旨は片貝地区は非常勤の消防団員が予防消防をはじめ多岐にわたる延焼防止で消防力基準では八分内消火活動と定められているものの、消防団員も様々な職業の人がおり基準を満たす状態になく、「人口五千人以上一万人未満の密集地には常備消防団」「人口三千人以上五千未満の密集地には配置された消防ポンプ車のうち一台について常勤の機関員を置くものとする」と定められているのに該当する片貝町にはこの施設がなく消防署の分遣所の開設をせよとのものである。当時の小出市長は、片貝中学校校舎建設の大プロジェクト完了後に検討したいとした。その後、平成三年に第二次小千谷市消防団整備計画を定め消防力の基準に沿って人員、装備、身分保障などの見直しを行な

## 主張

このことから片貝地区を担当する第八分団では、消防団員は八十名、手当てというにはあまりにも少なく文字どおり手当てで活躍している。火災への対策も取られず片貝の環境を考えると心配になる。特に冬期間一部ボ

### 片貝町福祉会総会開く 片貝地区の一人暮らしは47世帯

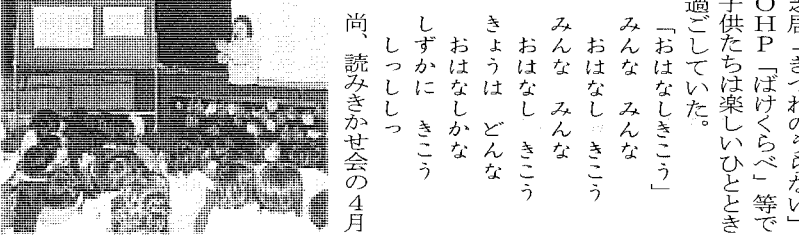
片貝町福祉会総会と講演会が去る3月8日(木)午後7時10分から片貝公民館2階ホールで開催された。当日30名前後の会員が出席し、平成12年度の活動報告、会計報告、対しての質疑、市健康福祉課職員による「小千谷市の福祉行政について」の説明、高山会長は「福祉推進委員は



片貝町福祉会総会と講演会。左から片貝町福祉会代表の高橋さん、市健康福祉課職員、高山会長。

### 読みかかせの歌ができたよ

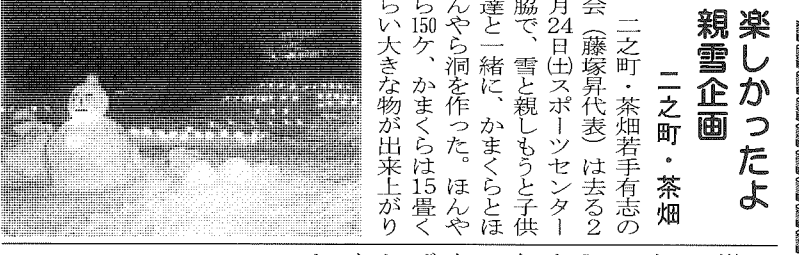
新年一歩紹介、音楽と語り「こぶとりじいさん」、紙芝居「きつねのうらなひ」、OH「はげくらべ」等、子供たちは楽しいひとときを過ごしていた。「おはなはなきこう」みんな みんな おはなはな きこう みんな みんな おはなはな きこう おはなはな きこう おはなはな きこう



読みかかせの4月。子供たちが楽しんでいる様子。

### 楽しかったよ 親雪企画

二之町・茶畑若手有志の会(藤塚昇代表)は去る2月24日(土)スポーツセンター脇で、雪と親しもうと子供達と一緒に、かまくらとほんや洞を作った。ほんや洞は、かまくらは15畳くらい大きな物が出来上がり



二之町・茶畑若手有志の会主催の親雪企画。子供たちが雪遊びを楽しんでいる様子。

### かたかい春秋

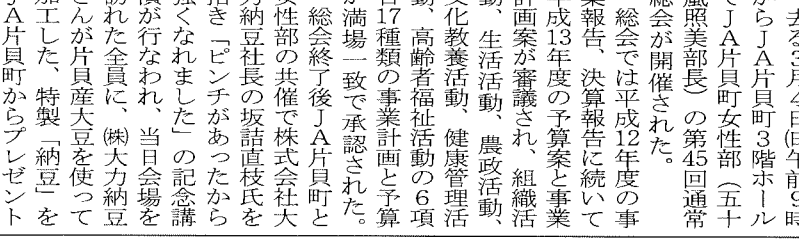
春が来た/卒業し、誰でもいいという訳ではない。類は友を呼ぶ。活動期に入ってきた。雪国に近づいているが、今年の花はどうか。思いもかけぬ大雪で、枝折れが相当ある。複合型であるいは大型施設の方は姿が見えていない。どうなったのである。町のリーダー、市議はきちんと筋のおおるやり方で臨んでらわねば困る。町民の意向をきちんと取りまとめ、偏った意見集約では困ります。

### 冬はソフトバレー大会 野球連盟主催で開催

片貝町野球連盟(太刀川忠雄会長)主催の第12回親睦ソフトバレー大会が、去る2月25日(日)午前9時から片貝小学校北運動場に片貝野球連盟加入の5チームが参加してリーグ戦が行われ、レッドスネーク二回戦となかチームを2対0、三回戦レッドBチームを2対0、四回戦JA片貝町チームを2対0で取り四戦四勝の成績で優勝杯を獲得した。

### JA片貝町女性部が 大豆の講演開催

去る3月4日(日)午前9時からJA片貝町3階ホールでJA片貝町女性部(五十嵐照美部長)の第45回通常総会が開催された。総会では平成12年度の事業報告、決算報告に続いて平成13年度予算案と事業計画案が審議され、組織活動、生活活動、農政活動、文化教養活動、健康管理活動、高齢者福祉活動の6項目17種類の事業計画と予算が満場一致で承認された。総会終了後JA片貝町と女性部の共催で株式会社大納豆社長の坂詰直枝氏を招き「ピンチがあったら強くなれ」の記念講演が行なわれ、当日会場を訪れた全員に、(株)大納豆さんが片貝産大豆を使って加工した、特製「納豆」をJA片貝町からプレゼント



JA片貝町女性部通常総会。坂詰社長が講演している様子。

### JA片貝町女性部が 大豆の講演開催

された。坂詰氏は講演の中で片貝産大豆について「納豆にするため豆を煮てみた所、豆の皮がむけてしまいうま味の水の中に出てしまし、残念ながらうま味が少ない納豆となった。うま味のある北海道産大豆の色は赤みと黄色みがあって鮮やかな色、片貝産大豆の色はチント青みがかかってピンチからは逃げず、自分にして受けて、それを受んとか打開して出てくると強くなる」と話していた。なお坂詰直枝氏は昭和15年小出町に先代社長の長女と生まれ、材木商に嫁ぐが、夫を説き伏せ実家の納豆業を受け継ぎ、昭和58年社長に就任。現在社長業の他に大湯湯泉納豆組合理事長、大湯まつり実行委員会代表幹事等で活躍中。

